



# 安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校  
学 校 便 り No. 7  
令和 7 年 5 月 2 9 日  
文責：校長 齋藤 和彦

## 児童会 JRC 委員会が今年もやります！

～にこにこ・ハイタッチあいさつ運動！～

昨日から、児童会 JRC 委員会児童による【にこにこ・ハイタッチあいさつ運動】が始まりました。“あいさついっぱい元気な安積二小に！”こんな子ども達の思いが..この実践活動につながりました。(昨年も実施)

朝の登校時間帯の昇降口では、JRC 委員会作成の“ビッグハンド”が待っています。



“ビッグハンド”にハイタッチして..同時に元よく「おはよう！」の声が広がる仕掛けの..児童発案あいさつ啓発活動です。

あいさつ運動初日の昨日から、安積二小の児童昇降口は、「おはよう！」～明るい笑顔の輪が広がっています。

JRC 委員会児童の自発的そして、知恵と工夫を凝らした取組であることがまた、すばらしい行動です。



JRC 活動のめざす【気付き 考え 行動する】姿が育つ実践活動にもつながっています。

## 『あいさつ』は、すると気持ちがいい？ されると気持ちがいい？

大人や先生は、「あいさつすると気持ちがいい。だから、あいさつしましょう！」と子どもに言いますが..本当でしょうか？

『あいさつは、されると気持ちいい』のではないのでしょうか。(どう思いますか？)

ですから、私達大人から先に子ども達にあいさつをして、気持ちよくしてあげましょう。～気持ちよくなった子どもは、いつか..きっと、自分から先にあいさつをするようになることでしょう。』

せっかくあいさつしたにもかかわらず、朝っぱらから「声が小さい！」だの「元気がない！」だの「ちゃんと目を見て！」「やり直し！」等と言われたら、最悪の朝です。

だから..私達大人の姿で、あいさつのよさを子ども達に感じられるように..わかってもらえるようにしたいのです。

## ◆◇ 校長室より ◇◇

“あたりまえのこと”を「あたりまえに」  
～子どもは大人の姿を映す鏡～

- あいさつをする（自然に）
- 返事をする（短く）
- 靴をそろえる（キチンと）
- 服をたたむ（きれいに）
- 話を聞く（静かに最後まで）



“あたりまえのこと”と思われそうですが、これらを「あたりまえに」できることはすごいことなのです。【平凡の非凡化】この域まで！※【凡事徹底】を学年学級目標に掲げている学年もありますね。子が育つ“根っこ”です。

この姿は、学校教育だけで育つ姿ではありません。家庭・地域の躰（習慣）、つまり、子どもが大人（親）の後ろ姿を見て（魅て）まねるように身に付く姿なのだと思います。

『当たり前のことが当たり前ができる』ということ

- 挨拶は、万物の礼儀であり尊重する心を育てる
- 返事をすることは、人を敬う心を育てる
- 靴をそろえることは、身だしなみを整える態度に
- 服をたたむことは、常に準備を怠らない態度に
- 話を最後まで聞くは、集中力を育み判断力を養う



朝の登校時..、あいさつが返ってこない子には、「家で何かあったのかな？」「友達との昨日のトラブルをまだ気にしているのかな？」「何か心配な授業があるのかな？」等、考えをめぐらし、寄り添える仲間でありたいと思っています。大きな声で挨拶はするけど“本当はあまり元気じゃないんだけどな..”こんなサインまでもが読みとれる教師になればいいなと思っています。～でも、やっぱり..気持ちのよい元気なあいさつが広がる朝になったらうれしいことです。

“挨拶ひとつ”で採用面接突破..商談成立..信頼倍増..！なんて話もよく聞きますよね。